

天候状況について

生育日程	ぶどう品種	
	メルロ	カベルネ ソーヴィニヨ
萌芽	3月25日	3月30日
開花	6月5日	5月30日
着色スタート	7月26日	8月1日
収穫	9月23日～10月1日	10月2日～10月11日



気まぐれな春

2019年の冬は、とりわけ温暖で晴天に恵まれたが、春は気まぐれな天候となり、生育が早まったり、緩んだりを段階的に繰り返した。ブドウの木がかなり急速に成長したため、生育期は早くスタートした。4月に入り生育が遅れ、6月中旬の熱波の到来で、巻き返した。

記録的な夏の気温

夏は、特に乾燥して晴天に恵まれ、均一な成熟とよい凝縮感をもたらすのに理想的な気象条件となった。2019年の夏は、記録的な気温と熱波、とりわけ1900年以降の年では、3番目に暑かった年として、記憶されるだろう。結果として、9月の雨と涼しい夜は歓迎され、これにより長い成熟を可能とし、ブドウ果にフレッシュさを蓄えることができた。

2019年は、ボルドー地方に起きている否定できない温暖化の気温上昇傾向を裏付けるような、高温に特徴付けられる。相当な降雨もあったが、2018年のような病害の脅威はなかった。実際、降雨は、例外的な暑い夏の後に恐れられた過熱の影響を和らげるのに、(乾燥を和らげたただけだったが、)有益で、9月初旬に耐えなければならなかった成熟の段階で起きたことを抑制し、この15年間には見ないような十分な収量をもたらした。

熟した各区画の収穫

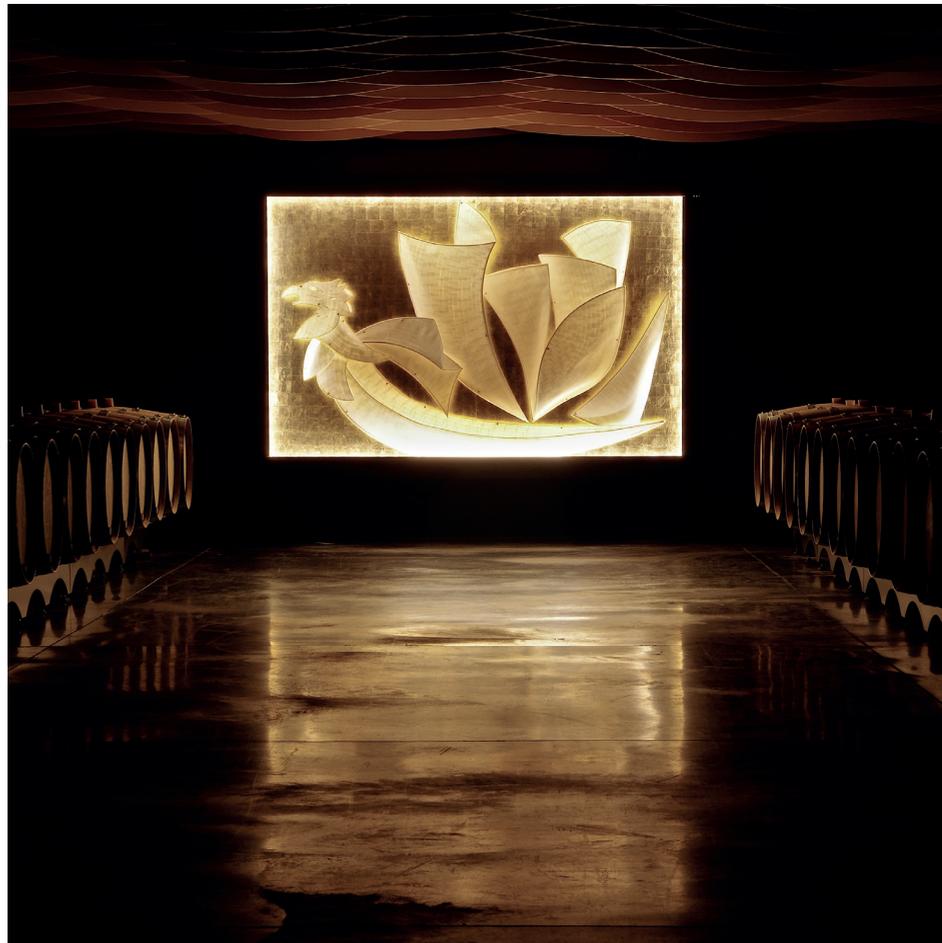
2019年の収穫は、雨との“かくれんぼ”のようで、全体としてとても満足のいくものとなった。収穫は、それぞれの品種とテロワールで理想的な成熟を迎えた時、9月23日から10月11日まで16日間で行われた。結果として、ブドウ果実は、特に健全で、素晴らしい凝縮感、新鮮さに富むものが収穫できた。

シャトー・ベイシュヴェル		アミラルド・ベイシュヴェル	
アルコール度数	13,7	アルコール度数	13,3
総酸量	3,4	総酸量	3,2
pH値	3,77	pH値	3,84
アントシアニン mg/L	900	アントシアニン mg/L	870
タンニン g/L	3,92	タンニン g/L	3,73
総ポリフェノール値 (IPT)	72	総ポリフェノール値 (IPT)	69

シャトー・ベイシュヴェル		アミラルド・ベイシュヴェル	
メルロ	49%	メルロ	32%
カベルネ ソーヴィニヨン	46%	カベルネ ソーヴィニヨン	68%
プティ ヴェルド	3%	プティ ヴェルド	0%
カベルネ フラン	2%	カベルネ フラン	0%
新樽比率	60%	新樽比率	35%
収量	50hl/ha		

第一印象

2019年は、美しい強い色調とエッジがあり、フレッシュな果実味があり、アルコール度数に関しては、直近のいくつかのヴィンテージより低いものとなった。タンニンの構成は、素晴らしいエレガンスと深みがある。収量は、厳しい選果を可能にし(約55%)、先人の伝統を受け継いだグランヴァンを醸造することができた。今年、シャトー・ベイシュヴェルでの25年目のヴィンテージを祝った、フィリップ・ブランは、2019年ヴィンテージは、ボルドーで過去に経験したことのない、高い品質のヴィンテージがシャトー・ベイシュヴェルでも続いていることを確信している。





長年にわたり、シャトー・ベイシュヴェルは、環境に優しい農業を実践することを約束しています。

CHÂTEAU BEYCHEVELLE
33250 SAINT-JULIEN-BEYCHEVELLE FRANCE
www.beychevelle.com



CHÂTEAU
BEYCHEVELLE
SAINT~JULIEN

2019 ヴィンテージ

